

The Learner

Doshisha International Academy, Elementary School

December
ISSUE



December 2, 2019
Volume 97

Message from the Vice President

点灯式からクリスマス ～アドベントを「光の子」として生きる～

同志社国際学院では11月15日(金)に点灯式を行いました。まず、チャペルで行われた礼拝では、DIA アンサンブルの伴奏のもと、讃美歌を歌い、お話を聞きました。また、特別企画としてソロバイオリンによる演奏があり、チャペルに伸びやかな音色が響きました。この礼拝では、「光」をテーマに、イエス・キリスト聖誕の時代や新島襄が生まれた幕末の時代であっても、夜になると「闇」が支配し、人々に不安や恐れをもたらしたことを、チャペルの明かりを落とし、真っ暗な中で実体験しました。その闇の中で、一本のろうそくの「光」が灯されました。たった一本のろうそくが、「闇」の中で輝くと、人々を安堵の気持ちにさせてくれます。



聖書の中には、光と闇のお話がよく出てきます。旧約聖書の創世記の中で、神が天地創造された後に言われたのが「光あれ」という言葉でした。そして、神は光を見て良しとされました。聖書の中では「光」は、「善意」(良い心) 正義(正しいこと) 真実(本当のこと)につながっています。反対に「闇」は、悪い行い、悪い言葉につながっています。

点灯式礼拝で取り上げられたエフェソ人への手紙5章6節は、「むなしい言葉に惑わされてはなりません」という言葉から始まっています。「むなしい言葉」とは、みだらな言葉、おろかな言葉、下品な言葉、人をけなす言葉、人をあざむく言葉など悪い言葉のことです。そして、8節の最後には「光の子となって歩みなさい」と私たちに語りかけます。そうなのです。私たちは「闇」の中で生きるのではなく、「光」のもとで「光の子」として生きていくことが示されているのです。では、「光の子」として、どんなことを心掛けていけばいいのでしょうか。同じエフェソ人への手紙の中に示されている「新しい生き方」の中に一つの答えが見出せます。「人々に恵みを与えられるように、その人を創り上げるのに役立つ言葉を必要に応じて語りなさい。」

キリスト教ではクリスマスを迎える4週間を、アドベントといい、イエスキリストの降誕を待ち望む期間として、重要な意味を持ちます。アドベント期間中、1週間ごとに1本ずつろうそくに灯がともり、聖誕の喜びを待ち望みます。また、一人ひとりが慎みを持って聖誕の日(クリスマス)を待ち望みます。このアドベントの期間中、私たちは「光の子」として「人々に恵みを与えられる」ように日々の生活を感謝と賛美と慈善の意識を持って過ごしていきたいと思えます。

DIAのクリスマス礼拝、そしてページェントは12月6日(金)に行われます。



副校長 城 恵市





キリスト教 教育テーマ

12月 Joy: 喜び

「なぜなら、神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。」(聖書協会共同訳)

コリントの信徒への手紙Ⅰ 1章25節

O・ヘンリーという作家の短編に、「賢者の贈り物」というお話があります。

ある年のクリスマス、仲睦まじい若い夫婦が、お互いへの贈り物を用意していました。用意した、とは言ってもつましく暮らしていた夫婦のこと、高価な贈り物を買うお金はありません。そこで妻は、自分の持っている唯一の財産である、ひざ下まで届く長い美しい髪を切って売り、そのお金で夫にプラチナの鎖を買いました。というのは彼には祖父から譲り受けた立派な金の懐中時計があったものの、それを繋ぎ止めるに相応しい上等な鎖がなかったからなのです。ところが、夫は夫で妻の美しい髪に似合う金の飾り櫛を買うために、何とせっかく持っていた大事な時計を売り払ってしまっていました。帰宅した時、夫は男の子のように短くなってしまった妻の髪を見て呆然とし、妻もまた、夫が今度は鎖だけで時計の無い人になってしまったことを知るのです。

物理的な話だけすると、この二人は完全に無駄な買い物をしてしまったこととなります。O・ヘンリーの言葉をそのまま借りれば「お互いのために、我が家の何よりの宝を犠牲にしてしまった、愚の骨頂ともいべき人々」です。けれども同時に彼はこのようにも述べて、物語を締めくくっています。「およそ贈り物をする人々のうち、この二人こそは、最も賢かったのです。彼らこそ賢者なのです。」

賢者という言葉はイエス・キリストの誕生物語に登場する三賢人一つまり東の方からやって来た三人の博士たちを意識しています。彼らは神の御子の誕生を祝い、異国から長い旅の末に、自分の持てる最高の贈り物を捧げました。聖書にはそれは、黄金、乳香、没薬であったと記されています。どれもその時代の貴重で高価な品物です。しかしながら彼らは異国人ですから、異国の神の救い主に贈り物をしたところで、直接何かの見返りがあるわけではありません。挨拶が終わると彼らはまた、はるばると旅をして自分の故郷へと戻っていきました。

O・ヘンリーのお話に登場する若い夫婦も、愛する相手に最高の贈り物を捧げるため、自分の宝物を敢えて失ったという点で、この三人の博士たちに似ています。なるほど見た目にはプラスマイナスゼロという結果に終わった贈り物の交換でしたが、きっとこの二人の間には、お互いへの一層深い愛と信頼という、見えない宝物が増し加わったことでありましょう。人が真実の愛に目覚める時、誰でも躊躇なくこのような「賢者」の振る舞いができるようになります。しかし一旦愛がぶれてしまうと「賢者」の振る舞いはたちまち「愚者」の行為のように思え、「そのような損をすることはできない。」と、考えてしまうのです。

けれどもパウロという人は聖書の中で「神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強い。」と、述べています。真実の愛から来る「愚かさ」は、神の目から見ればこよなく「賢い」貴いもので、このような賢さを持つ人々をこそ神は愛し、恵みをくださるのです。

(以上は、過日に筆者が結婚式の司式をさせていただいたOさん御夫妻への奨励内容です。)

参考図書:「賢者のおくりもの」オー・ヘンリー文、矢川澄子訳 2016年版 富山房

Christian Education Committee 石川眞弓

<お知らせ>

・11月は収穫感謝礼拝、さずな祭(聖書の会もチャリティー・バザーのブースを担当しました)、点灯式などキリスト教関連の行事が多く行われました。お手伝い・御協力くださったSG様及びサポート下さった全ての皆様に深く感謝致します。クリスマスまでの一日一日が、更に充実して祝福されたものとなりますように祈ります。

・12月6日(金)全校クリスマス礼拝とクリスマスページェント(昼の部・夜の部)

※夜の部のページェントはどなたでもご観覧いただけます。お誘いあわせの上、ご来校ください。

5年生宿泊学習

5年生の宿泊学習は、10月29日(火)～11月1日(金)の3泊4日の日程でした。初日は全国的に雨でしたが、後半の3日間はさわやかな秋晴れが続き、東京と群馬の素晴らしい景色を堪能しながら、全ての行程を5年生59名全員で有意義に終えることができました。

1日目は京都駅に集合した後、新幹線で東京駅へ向かい、雨の中バス停まで歩き、その後警視庁に向かいました。警視庁では担当の女性警官の方とピーボ君にたくさんのことを学びました。普段入るところではないので緊張感を持って行動できました。東京江戸博物館とスカイツリーではグループリーダーを中心にグループ活動をした後、宿泊学習1日目の夜を迎えました。ホテルに向かっているとき、バスの車窓からは、東京タワーのライトアップがきれいに見え、児童たちは感動していました。

2日目は国会議事堂にて参議院の体験プログラムに参加しました。代表者が実際の国会議員になったつもりで会議を進めていく様子が本物さながらでした。その後、浅草へ訪問し浅草寺前にてインタビュー活動をしました。話しかけ方やお礼の仕方をMr.Lockerに教えてもらい、どの児童も積極的にインタビューをしていました。外国の観光客の方々から「英語がとても上手ね。」とほめられていてとても嬉しそうでした。お昼ごはんを浅草の天ぷら屋さんでとってからユニセフへ向かいました。2日目最後の訪問地であるユニセフの事務所では、子どもの権利や飢えや感染の危険にさらされている世界中の子ども達の様子について教えてもらいました。

3日目は、1947年にできた中高一貫校、新島学園に向かい、高校生の皆さんと朝の礼拝に参加しました。聖歌隊の皆さんによるハンドベルの美しい演奏を聴いたり、本校児童が『同志社カレッジ・ソング』、『校歌』、『Make me a channel of your peace』を歌ったりして交流を深めました。5年生の歌声はとても美しかったです。交流後は、新島家や同志社に關係の深い味噌・醤油製造・販売の老舗、有田屋でお話を聞いた後、みたらしだんごをいただきました。お団子の絶妙なかたさと、濃いみたらしの餡がからまり、そのおいしさに子どもたちは驚いていました。その後、新島旧宅で新島襄の旧家を訪れ、午後からは群馬県立自然史博物館で人類の進化の過程や地元の動植物について学びました。大きな恐竜の展示は、動くものもありとてもリアルで迫力がありました。3日目最後に訪れたこんにやくパークでは、こんにやくで作られている料理を試食させていただきました。一番人気はこんにやくラーメンでした。

4日目、世界遺産である富岡製糸場では、明治時代に盛んだった日本の養蚕、製糸やそれらの歴史について知ることができました。グループ活動ではリーダーを中心に、初日より大きく成長した姿が印象的でした。仲間とコミュニケーションをとりながら仲良く見学できました。その後、高崎駅から東京駅を経て京都まで戻ってきました。

この3泊4日の宿泊学習を通して子どもたちは心身ともに大きく成長しました。校外学習やスポーツデイに続いての宿泊学習でしたが、どの子どもも友達や先生と過ごしたいと振り返っていました。来年の修学旅行に向けてしっかりと準備できたことでしょう。



DIA LIBRARY からのおしらせ

子どもの不思議？に答える大人の姿勢

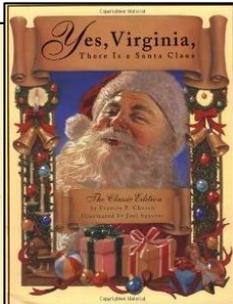
早いもので1年の終わりの月である12月がやってきました。図書館ではSGさんが作ってくださった素敵な掲示とともにクリスマスの本を入りに別置しています。クリスマスの本といえば・・・と聞かれると即答できないくらいたくさん素晴らしい本があります。私自身も自宅の本棚に「クリスマスの本コーナー」を作って集めているくらいです。でも、なんといっても『サンタクロースっているんでしょうか？』偕成社は是非手にとって読んでもらいたい1冊です。この本は実際にあったお話で、1897年ニューヨークに住む8歳の少女バージニアが投げかけた「サンタクロースって本当にいるの？」という質問に、ニューヨーク・サン新聞の記者が答えた社説を翻訳したものです。バージニアの質問に真摯に暖かく答えたメッセージは、サンタクロースについて書かれた名文の一つになりました。

“Yes, VIRGINIA, there is a Santa Claus”（そうです、バージニア、サンタクロースはいるのです）という題名で書かれたこの社説は100年以上経った今でも、クリスマスが近づくと世界中のメディアで取り上げられています。子どもの素朴な疑問に真摯に答えた大人の姿勢に頭が下がる思いですし、この本を読むといつも自分もそうありたいと改めて思わせてもらいます。

日本では1977年に出版されて以来ロングセラーとなっていて、2008年11月22日付「NIKKEI PLUS 1」の中では『大人に贈りたい絵本』第4位に選ばれています。執筆者のフランシス・P・チャーチは、同社の新聞記者として活躍し、アメリカ合衆国大統領ユリシーズ・S・グラントや科学者ジョン・エリクソンの伝記を書いたことでも知られています。挿絵の東逸子さんは1953年、佐賀県生まれ。東京芸術大学工芸科を卒業後、「詩とメルヘン」（サンリオ）など雑誌・出版物で活躍しています。私の大好きな、たつみや章さんの『月神の統べる森で』講談社シリーズの挿絵なども描かれています。

こんな時代だからこそ、世界中の子ども達がこれからもずっとサンタクロースがいると信じられる世の中であって欲しいと思います。もちろん、DIA Libraryには他にも素敵なクリスマスの本があります。是非、お子さんと一緒に手にとって読んでみませんか。

司書教諭 上里 久美



左が翻訳された本、中が原本です。右は Library SGさんが作ってくださった素敵な12月の飾りとクリスマスの本です。

12月の主な行事・予定

| | | |
|----|-----|-------------------------------------|
| 1 | Sun | |
| 2 | Mon | Unit5(week3) G1 参観・学期報告会①②③懇親会⑤⑥ |
| 3 | Tue | 教員人権研修会 (3時間授業 ランチ無し) |
| 4 | Wed | |
| 5 | Thu | G2 参観・学期報告会 |
| 6 | Fri | クリスマス礼拝 キャンドルライトサービス |
| 7 | Sat | 法人中学校推薦入試(同中、女子、香里) |
| 8 | Sun | |
| 9 | Mon | Unit5(week4) G4 参観・学期報告会 |
| 10 | Tue | G4 キャロリング G6 参観・学期報告会 |
| 11 | Wed | |
| 12 | Thu | G3 参観・学期報告会①-④ |
| 13 | Fri | G5 参観・学期報告会②-④ |
| 14 | Sat | |
| 15 | Sun | |
| 16 | Mon | 秋学期末カンファレンス(AM 授業) |
| 17 | Tue | 秋学期末カンファレンス(AM 授業) |
| 18 | Wed | 秋学期末カンファレンス(AM 授業) |
| 19 | Thu | 秋学期末カンファレンス(AM 授業) |
| 20 | Fri | 終業礼拝 |
| 21 | Sat | 冬休み開始 |
| 22 | Sun | |
| 23 | Mon | |
| 24 | Tue | |
| 25 | Wed | |
| 26 | Thu | |
| 27 | Fri | |
| 28 | Sat | |
| 29 | Sun | |
| 30 | Mon | |
| 31 | Tue | |

(冬休み前貸し出し) 図書館

1月の主な行事・予定

- 1/6(月) 始業礼拝(AM 授業)
- 1/17(金) 避難訓練 G1,G3,G5 引渡し訓練
- 1/23(木) 校租永眠の日(休校)
- 1/30(木) 1/31(金) G6Exhibition エキシビション